



報道関係者各位
プレスリリース

2014年4月18日
ハイアット ホテルズ アンド リゾーツ

中国で「ハイアット プレイス」と「ハイアット ハウス」が間もなく開業

ハイアット ホテルズ コーポレーションは、今年5月にアジア太平洋地区初のハイアット プレイス ホテル ブランド、「ハイアット プレイス 深圳 東門 (Hyatt Place Shenzhen, Dongmen)」を開業するにあたり、今後中国で展開する「ハイアット プレイス」と「ハイアット ハウス」のホテル名を発表いたしました。

ハイアット プレイス (Hyatt Place) は、スタイリッシュな空間で機能的な施設とサービスを毎日24時間シームレスにご体験いただける、セレクト サービス ホテルです。ハイアット ハウス (Hyatt House) は、ご自宅のように寛げる空間で機能的なサービスをお楽しみいただける、長期滞在に最適な居住型ホテルです。スタイリッシュなデザインと最新のハイテク設備を備えた機能性溢れる環境の中で、“飾らないおもてなし”を提供するハイアット プレイスとハイアット ハウスは、旅先でもビジネス(オン)とプライベート(オフ)を両立するライフスタイルを追求するお客様のためのホテルブランドです。

「中国でハイアット プレイスとハイアット ハウスの2つのブランドを展開することで、多様性に富んだホスピタリティ業界を構築し、中国で最も愛されるホスピタリティ ブランドになるよう尽力してまいります。そうすることで、中国マーケットにおけるハイアット ブランドの更なる浸透、そして安定した、確固たる成長の継続に繋がると考えています。」と、ハイアット ホテルズ アンド リゾーツの不動産開発担当シニア ヴァイス プレジデントを務めるノング・シャーは述べています。

2014年5月、香港に隣接した中国・深圳の中心地に、中国初のハイアット プレイス「ハイアット プレイス 深圳 東門」を開業いたします。同ホテルはアジア太平洋地区で初めてのハイアット プレイスでもあり、ハイアット プレイス ブランドのグローバル展開を目指すハイアットにとって重要なステップとなります。ハイアットは、2012年、米国外で最初のハイアット プレイスを中米の地、コスタリカにオープンしました。今日では、米国やアルメニア、コスタリカ、インド、メキシコ、プエルトリコ、そしてオランダなど、世界190ヶ所以上でハイアット プレイス ブランドを展開して

います。「ハイアット プレイス 深圳 東門」では、全客室にハイアットオリジナルのグランド ベッド、ユニットソファを設けたリビング、42 インチ高画質フラットパネルTVを完備します。また毎日無料でお召し上がりいただける温かい朝食、24 時間営業のフィットネスジムなど、充実した設備とサービスもご用意いたします。ギャラリーホスト (Gallery Host) と呼ばれるホテルスタッフが、お客様の快適なご滞在をサポートいたします。

現在、中国ではハイアット プレイスとハイアット ハウス合わせて 20 軒以上の新規開業を計画しており、2015 年末までに、9 つあるハイアットブランドのうち 6 ブランドを展開する予定です。

<ハイアット プレイス>

| | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| ハイアット プレイス 深圳(しんせん) 東門 | Hyatt Place Shenzhen, Dongmen |
| ハイアット プレイス 深圳(しんせん) エアポート | Hyatt Place Shenzhen, Airport |
| ハイアット プレイス 上海 虹橋 CBD | Hyatt Place Shanghai Hongqiao CBD |
| ハイアット プレイス 上海 新江湾 | Hyatt Place Shanghai Xinjiangwan |
| ハイアット プレイス 上海 嘉定 | Hyatt Place Shanghai Jiading |
| ハイアット プレイス 上海 新虹橋 | Hyatt Place Shanghai New Hongqiao |
| ハイアット プレイス 北京 大興 | Hyatt Place Beijing, Daxing |
| ハイアット プレイス 天津 南開 | Hyatt Place Tianjin Nankai |
| ハイアット プレイス 崇礼(すうれい) | Hyatt Place Chongli |
| ハイアット プレイス 佛山(ぶつざん) 里水 | Hyatt Place Foshan, Lishui |
| ハイアット プレイス 無錫(むしゃく) コースタルシティ | Hyatt Place Wuxi, Coastal City |
| ハイアット プレイス 洛陽(らくよう) | Hyatt Place Luoyang |
| ハイアット プレイス 莫干山 | Hyatt Place Moganshan |
| ハイアット プレイス 鞍山(あんざん) | Hyatt Place Anshan |
| ハイアット プレイス 昆明(こんめい) | Hyatt Place Kunming |
| ハイアット プレイス 三亜(さんあ) シティセンター | Hyatt Place Sanya City Center |

<ハイアット ハウス>

| | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| ハイアット ハウス 深圳 エアポート | Hyatt House Shenzhen, Airport |
| ハイアット ハウス 上海 虹橋 CBD | Hyatt House Shanghai Hongqiao CBD |
| ハイアット ハウス 上海 嘉定 | Hyatt House Shanghai Jiading |
| ハイアット ハウス 上海 新虹橋 | Hyatt House Shanghai New Hongqiao |
| ハイアット ハウス 無錫(むしゃく) コースタルシティ | Hyatt House Wuxi, Coastal City |
| ハイアット ハウス 三亜(さんあ) 南山 | Hyatt House Sanya, Nanshan |

ハイアット プレイス・ハイアット ハウス担当ブランド ヴァイス プレジデント、クリス・ウォーカーは、「ハイアットでは、入念な顧客・消費者調査を行い、私共のお客様が何を求めになり、どうしてそれを必要とされているのかを的確に把握できるようにしております。ハイアット プレイスとハイアット ハウスは、絶えず変化し続ける消費者のニーズに応え、シンプルでありながら快適なホテルライフをコンセプトとしたブランドです。ハイアットが誇る高品質のサービス、そしてお客様一人一人のご要望に合ったおもてなしをご提供していく所存です」と、述べています。

Hyatt Place について



2006年に誕生した「ハイアット プレイス」は、仕事とプライベートをうまく切り替えながら多忙な日々を送る旅行者に、スタイリッシュな空間と機能的な設備、そしてハイアットが誇る“真のおもてなし”を提供する、セレクトサービス ブランドです。全客室に、ユニットソファ付きの広いリビングスペース、ハイアットのために開発されたハイアット グランド ベッド、独立したワークスペースを備え、Wi-Fi とリモート印刷サービスは全館無料でご利用いただけます。また宿泊ゲストは、「a.m. a.m. Kitchen Skillet™」にて毎朝無料で温かい朝食をお召し上がりいただけます。このほか、24 時間いつでも出来立てのお料理をオーダーできる「24/7 Gallery Menu」や、オリジナルコーヒーからビール、ワイン、カクテルを取り揃えた「Coffee to Cocktails Bar」、24 時間営業のフィットネスジム、滞在中に必要な物を無料レンタルまたは購入できるプログラム「Odds & Ends」など、ハイアット プレイスならではのユニークなサービスもご利用いただけます。詳細は www.hyattplace.com (英語) をご覧ください。

Hyatt House について



2012年より展開している「ハイアット ハウス」は、長期滞在に最適な居住型ホテルです。高級感がありながら快適で飾らない空間、まるでご自宅にいるかのような雰囲気の中で上質なサービスと設備でお客様をおもてなしするというコンセプトのもとに誕生しました。スタジオタイプの客室、1ベッドルームまたは2ベッドルームのスイートでは、設備の整ったキッチン、高画質フラットパネルTVを備えた快適なリビングルーム、そして広いベッドルームを完備しています。ホテル全館で Wi-Fi を無料でご利用いただけるほか、毎朝できたての温かい朝食と、夕刻時のイブニングソーシャルでのビールやワインは、無料でお楽しみいただけます。お好きな時間にエクササイズできる 24 時間営業のワークアウトルーム、ゲストマーケット、ランドリー設備も備えています。ハウス ホストと呼ばれるスタッフが、道案内からチェックインまでお客様をサポートしますので、お客さまにはいつでも“我が家”にいるかのようにお過ごしいただけます。旅先でもご自宅と変わらない日常をお届けする、それがハイアット ハウスです。詳細は www.hyatthouse.com (英語) をご覧ください。

Hyatt Hotels Corporation について

ハイアット ホテルズ コーポレーション(本社:米国イリノイ州シカゴ)は、ハイアットが誇る洗練されたおもてなしと心地よい寛ぎを提供する、世界有数のホスピタリティ企業です。世界各地で働くハイアットスタッフ一人ひとりが、お客様の人生に感動と輝きをもたらす“本物のホスピタリティ”を提供しています。現在、世界中でパーク ハイアット(Park Hyatt)、アンダーズ(Andaz)、グランド ハイアット(Grand Hyatt)、ハイアット(Hyatt)、ハイアット リージェンシー(Hyatt Regency)、ハイアット プレイス(Hyatt Place)、ハイアット ハウス(Hyatt House)、ハイアット ジラーラ(Hyatt Zilara)、Hyatt Ziva(ハイアット ジーヴァ)のホテルブランドを管理、所有、開発、フランチャイズ経営しています。また、ハイアット ホテルズ コーポレーションの傘下には、ハイアット レジデンスとハイアット レジデンス クラブを展開、運営、販売またはライセンス契約するハイアット レジデンシャル グループ, Inc があります。2013年12月31日現在、ハイアット ホテルズ コーポレーションのポートフォリオは世界48ヶ国で548施設です。詳しくは www.hyatt.com をご覧ください。

将来予測に関する記述について

本プレスリリースに含まれる記述で歴史的事実でないものは、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)が定める「将来予測に関する記述」(Forward-Looking Statement)に該当します。かかる記述は、当社の計画、戦略、財務実績、将来見通しもしくは将来事象に関する記述を含み、また予測困難な既知もしくは未知のリスクに関わります。このため、当社の実際の成果や業績は、将来予測に関する記述に明示または暗示されている内容と大きく異なる場合があります。かかる記述の文中にある「かもしれない(may)」、「可能性がある(could)」、「期待する(expect)」、「意向である(intend)」、「計画している(plan)」、「求める(seek)」、「予想する(anticipate)」、「考えている(believe)」、「予測する(estimate)」、「予想する(predict)」、「潜在的(potential)」、「続ける(continue)」、「あり得る(likely)」、「するつもりである(will)」、「するかもしれない(would)」その他これらに類する単語や類似の表現、又はその否定形の使用によって、当該文章が「将来予測に関する記述」であると判断できることがあります。「将来予測に関する記述」は、当社及び当社の経営陣によってその内容が妥当であると判断されていながらも、必然的に不確かな性質の予測及び前提に基づくものです。現在の期待と実際の結果との間に大きな相違をもたらしうる要因としては、現在の景気低迷の落ち込み度合いとその継続期間、当事業や旅行・レジャー業界における消費水準と顧客の信頼、客室稼働率や平均宿泊料金の低下、将来起り得るテロ攻撃などの敵対行為や旅行に影響を及ぼす敵対行為発生の恐れ、旅行関連の事故、当社顧客の嗜好や選好の変化、提携業者や労働組合との関係、労働法の改正、他の資産所有者、フランチャイズ加盟者もしくはホスピタリティ事業パートナー等の財務状況及びこれら当事者と当社との関係、将来的な買収及び処分並びに新たなブランドコンセプト導入に伴うリスク、当社が事業を行う業界や市場における競争環境の変化、法的手続の結果、連邦・州・地域または外国の税法の改正、為替相場の変動、資本市場の一般的な価格変動や当社の資本市場へのアクセス力等々が含まれます。かかるリスク及び不確定要素については、米国証券取引委員会に提出されている各種報告書(書式10-Kによる年次報告書を含む)において、より完全に記載されています。本プレスリリースの配信日現在において発表された将来予測に関する記述に過度に依拠されることのないようご注意ください。当社は、適用法令によって義務付けられる場合を除き、実際の

結果、新たな情報、将来の事象、前提条件の変化、その他将来予測に関する記述に影響を及ぼす要素の変化を、かかる記述に反映させるように将来予測に関する記述を公的に更新する義務を負いません。仮に、当社が将来予測に関する記述の 1 つまたは複数について更新した場合であっても、そのことから、その後、かかる記述又は他の将来予測に関する記述に関してさらなる更新がなされることを意味するものではありません。

本件に関するお問い合わせ先

ハイアット ホテルズ アンド リゾーツ

コーポレート コミュニケーションズ

TEL: 03 3222 4088 FAX: 03 3222 0390